ＡＡＳ名古屋

この解答例は、2023 年 11 月 21 日現在のものです

ＡＡＳ（アソシエ・アドバンス・スクール）は、中小企業診断士２次試験に特化した受験機関です。過去問を基軸に置いた学習で、スーパーフレームワークや設問分解練習法など独自の２次試験攻略法を開発してきました。ＡＡＳでは「表現力×構成力×与件活用力」で答案を作成しています。

【令和５年度・第２次筆記試験】事例Ⅰ（組織・人事戦略）

この模範解答例は
ＡＡＳ名古屋が作成しました

第１問（配点 20 点）（30 字）
①自主的に問題解決する企業風土と従業員を育成できる組織体制。（29 字）

②原材料仕入が不安定な点と常連の地元顧客の需要に依存している点。（30 字）

第２問（配点 20 点）（100 字）
現経営者は、地元ファミリー層に客層を絞り、厳選原材料の使用やオリジナルメニュー開発、従業員の増員と育成をして商品とサービスの質を高めて差別化した。狙いは、安定的な利益を確保できる体制を築くことである。（100 字）

第３問（配点 20 点）（100 字）
留意点は、①競合店との差別化のため従業員の育成を進め、商品とサービスの品質を高める必要がある点、②従業員の人柄・価値観を重視した対話を通じて職場環境の改善を共に進め、離職率を下げる必要がある点である。（100 字）

第４問（配点 40 点）
（設問１）（80 字）
組織統合は、①Ａ社接客リーダーにＸ社統括を任命し目的意識の共有や意思疎通を図るチームを構築、②両社従業員は経営方針を共有し、明文化して一体感を醸成すべきである。（80 字）

（設問２）（100 字）
経営統合シナジーを発揮し、①地元産の材料を使用した高品質の蕎麦とサービス提供の差別化集中戦略、②地域食べ歩き需要を掘り起こす外国人観光客や若者向けの新市場開拓戦略、を展開して売上拡大を図るべきである。（100 字）

文責：AAS 名古屋　鷺山はるこ

無断転用・転載を禁じます。